

II 市町の地域学校協働の取組県の取組

彦根市における地域学校協働活動の取組

[取組状況] ■地域学校協働本部 ■地域未来塾 □放課後子ども教室 □土曜日の教育支援

■目指す姿

地域と学校が連携・協働し、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えるため、幅広い地域住民等の参画により、一人ひとりが当事者意識をもって「地域学校協働活動」を推進し、「地域の子は地域で守り育てる」気運を高める。また、地域住民等の生涯学習・自己実現に資するとともに、活動を通じて地域のつながりを強化し、地域の活性化を図る。

■本年度の具体的活動

- ・地域学校協働活動推進事業実行委員会の開催（年2回）
 - 第1回 6月23日（金） 各校の特徴的な取組の交流
 - 第2回 1月29日（月） 各校の実践に学ぶ 取組交流と次年度に向けた意見交流
- ・第1回 彦根市学校運営協議会研修 7月14日（金）～ オンデマンド型の動画配信研修
「コミュニティ・スクールの基礎・基本」
- ・広報ひこね10月号 「コミュニティ・スクール」の特集記事の掲載
- ・市教委担当による学校訪問 10月～11月
地域学校協働活動の推進状況の把握
学校運営協議会導入に向けた指導助言
- ・彦根市地域学校協働活動推進員研修会 11月2日（木）
「地域学校協働活動推進員の果たす役割」
- ・第2回 彦根市学校運営協議会研修 11月28日（火）
「対話のある学校 地域協働で大切な視点（熟議）」
- ・第3回 彦根市学校運営協議会研修 2月22日（木）
「コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の充実に向けて」



【研修会 模擬「熟議」の様子】

■本年度の成果

地域学校協働活動の中身が充実してきた。学校への支援活動から協働する活動への深まりが見られた。学校運営協議会と地域学校協働活動との「つながり」を意識し、一体的な推進への理解が深まった。学校運営協議会導入に向けた気運が高まった。

■課題と今後の連携・協働活動の推進に向けて

地域未来塾の学習支援員をはじめ、事業を支える地域ボランティアが高齢化、固定化する傾向があるため、新たな支援のネットワーク化を図り、人材を安定的に確保していくことが重要である。

地域学校協働活動推進員の役割の共通理解と資質の向上をめざす。

■地域学校協働活動推進員の委嘱状況

市内全ての小中学校において、1～2名の地域学校協働活動推進員を配置し、教育委員会が委嘱した。本年度は、34名の地域学校協働活動推進員を委嘱した。

■域内の公立学校園の学校運営協議会の導入状況および計画

次年度（令和6年度）、市内の全ての小・中学校（24校）において学校運営協議会が導入される予定である。公立の幼稚園については、学校と協働・支援する組織はあるものの、学校運営協議会を立ち上げるところまではいたっていない。